

# WHO インターンシップと 日本WHO協会による支援助成制度

最近WHOインターンシップの制度、申し込み方法などが変わっています。以下はWHOホームページよりの情報を抄訳していますが、詳しくはWHOのウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.who.int/careers/internships/en/>

## WHO インターンシップとは

WHOのインターンシッププログラムは大学及び大学院の学生に対し、WHOの技術的かつ実施的プログラムに関する理解を深め、保健分野における彼らの知識と経験を豊かにし、それによって公衆衛生の進歩に貢献することを目的として広範な機会を提供しています。

大多数の学生は保健関係のプログラムに割り当てられますが、専攻分野に応じコミュニケーション、渉外や人事など、専門に見合った部門に割り当てられます。期間はWHOの部門のニーズとインターンの都合により、6～24週間程度です。2020年1月から、必要とする学生に対してWHOが手当てを支給する制度が始まります。

## どのような人が申し込める？

- ・申し込み時点で20歳以上
- ・大学または正式の資格を得るための相当の施設に属していること(既に卒業した人でも卒業後6か月以内なら申し込むことができる。)
- ・インターンシップを始める時点で大学のフルタイム3年間の課程を終了している。
- ・第一学位として公衆衛生、医学あるいはWHOの技術的分野に関連する社会分野の学位を持つ、あるいはマネジメントやアドミ分野の学位をもつ
- ・WHO職員の関係者ではない(子ども、兄弟、親など)
- ・割り当てられたオフィスの仕事上の言語の少なくとも一つが流ちょうである

・以前にWHOのインターンシップに参加したことがない

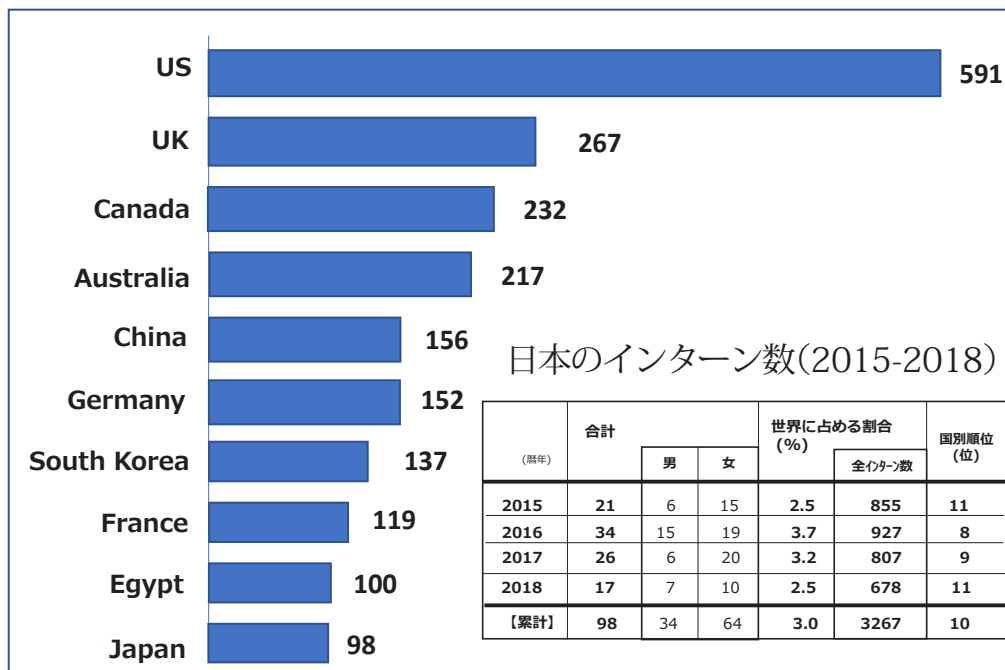
## インターンの出身国は？

以下の図表はWHOのデータベースから集計したものです。

## 日本WHO協会のインターンシップ支援助成制度とは

日本WHO協会では日本人のインターンシップを促進する目的で、WHOインターンシップに申し込み採用が決まった人に対して助成を行っています。詳しくは次ページの通りです。

## 国別インターン数(2015-2018)



出典 ; [https://www.who.int/about/finances-accountability/budget/HR-workforce\\_data-20181231.pdf?ua=1](https://www.who.int/about/finances-accountability/budget/HR-workforce_data-20181231.pdf?ua=1)  
[http://www.who.int/about/finances-accountability/budget/HR-workforce\\_data.pdf?ua=1](http://www.who.int/about/finances-accountability/budget/HR-workforce_data.pdf?ua=1)  
[http://www.who.int/about/finances-accountability/budget/EB140\\_HRTables\\_2016.pdf?ua=1](http://www.who.int/about/finances-accountability/budget/EB140_HRTables_2016.pdf?ua=1)  
[http://www.who.int/about/finances-accountability/budget/WHA69\\_HR\\_2015.pdf](http://www.who.int/about/finances-accountability/budget/WHA69_HR_2015.pdf)

# WHO インターンシップ支援助成のご案内

## 趣旨

日本 WHO 協会が進める WHO への人材貢献推進事業の一環として、WHO にインターンとして登用された個人に対し、インターン期間中の生活費等の負担を軽減するために助成を行うものです。

## 応募資格

WHO の本部、西太平洋地域事務局、健康開発総合研究センター等のインターンシップ制度によりインターンとして登用が決定した者

## 応募方法

WHO でのインターン採用決定内容と助成支援を必要とする理由（他の支援制度適用の状況等）を付して協会事務局へ申請してください。申請は事前申請とし、できれば渡航の1か月前までに申請してください。

### 申請書必要記載事項（様式不問・メール可）

- ① 氏名等：氏名（フリガナ）、住所、連絡先メール、電話番号
- ② 履歴：生年月日、学歴、職歴、申請時現在の所属、顔写真
- ③ インターン採用の決定内容：行き先、期間、職務内容（採用内容が分かる WHO 発行資料のコピーを添付）
- ④ 助成必要理由：必要経費予想額と他の支援制度適用の状況
- ⑤ 助成金受け取りの国内銀行口座

## 助成の決定

申請があった者について、面接又は電話等により応募内容や助成の必要性についての確認等をおこなったうえ、理事会に諮り、助成対象者及び助成内容を決定し、応募者に個別に通知します。

## 助成対象者の義務等

インターン終了後は、

- (1) WHO での経験を協会機関誌「目で見える WHO」に掲載する記事として報告頂きます。
- (2) 「WHO インターン同窓会」（下記 URL）へ登録をして下さい。  
登録フォーム；<https://forms.gle/t6Lurzv8GURqYabB6>
- (3) 約 1 年間は、ファクトシートの翻訳のお手伝い等をしていただきます。  
お手伝いいただく内容については、個別にご相談をさせていただきます。
- (4) 日本 WHO 協会では、いままでも WHO インターン修了者の方々とのネットワークを大切にし、いろんな機会に日本 WHO 協会の活動にご協力いただきました。これは、義務ではありませんが、インターン終了後、賛助会員（個人又は学生）に入会いただくと大変にうれしいです。
- (5) 助成金用途についての報告明示義務はありませんが、何らかの事情によりインターンを中止、中断した場合には直ちにその旨を連絡頂き、個別事情により助成金を返還頂く場合があります。

20191008